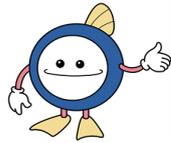


上下水道とくらし

vol. 57

令和6年6月号



発行：別府市上下水道局

発行部数：4,800部

所在地：〒874-0903 別府市大字別府字野口原3088番27

電話：0977-23-0361（代表）

URL：<http://www.city.beppu.oita.jp/suido>



6月1日から7日は水道週間です！

水道週間とは？

水道について国民の理解と関心を高め、公衆衛生の向上と共に、水道の今後の発展に役立てるため、厚生省（現：厚生労働省）が1959（昭和34）年に設けたもので（今年で66回目になります）、毎年6月1日から7日までの1週間実施されています。

蛇口からいつも流れてくるきれいな水。私たちは食事、洗濯、入浴など暮らしの中のあらゆる場面で水を使います。

別府市では24時間体制で細心の注意を払いながら、安全・安心な水を市民の皆さんに届けています。

この機会に”水（みず）”について考えてみませんか？



出典（公社）日本水道協会

8月1日は水の日です。



水資源の有限性、水の貴重さ及び水資源開発の重要性について国民の関心を高め、理解を深めるため、昭和52年5月31日に閣議了解により、毎年8月1日を「水の日」とすることが定められました。平成26年7月1日には水循環基本法が施行され、健全な水循環の重要性について理解と関心を深める日として「水の日」が法律で定められました。

上下水道局はいつでも良質な水を届けるための水道施設整備を行うとともに、下水道施設の整備を併せて行うことで、水の再生に取り組んでいます。

9月10日は下水道の日です！

下水道の日とは？

1961（昭和36）年、下水道の全国的な普及を図るため、当時の建設省（現：国土交通省）と厚生省（現：厚生労働省）が協議して「全国下水道推進デー」として始まりました。2001（平成13）年、より親しみのある名称にと「下水道の日」に変更されています。

別府市においても、下水道に対する理解と関心を深め、その普及を促進するために関連した行事を行っています。

9月10日は、立春から数えて220日目にあたり、昔は二百二十日（にひゃくはつか）と呼ばれ、大きな台風が来る日、また、大雨に備える特別な日とされていました。この台風シーズン中の特別な日が、下水道の大きな役割の一つである「雨水を流すこと」となじみがあるということで「下水道の日」と定められました。



令和6年能登半島地震の被災地へ職員を派遣しました。

別府市上下水道局は、日本水道協会の要請を受け、令和6年2月12日から3月11日にかけて、被災地である石川県鳳珠郡能登町へ職員を派遣し、応急給水活動を行いました。

金沢市に宿泊し、ここを拠点として毎日金沢市から、給水活動を行う能登町へ約3時間かけて移動しました。

能登町での活動の様子や被災地の様子などを写真にてご紹介します。

【被災地の様子】



倒壊した家屋も多く、給水拠点である宇出津港いやさか広場にも大きな地割れがあり、地震の大きさを物語っていました。

テレビではなく生で見る被災地の様子は、とても言葉に表せるものではありませんでした。

【出発式の様子】



全5班を派遣しました。
各班の出発と帰局の際には、職員が見送りと出迎えをしました。

別府から車とフェリーで金沢市まで移動します。

【現地での活動の様子】



現地の子供と給水袋に給水



矢波浄水場で給水車に充水



雨の中の給水活動



雪の中の給水活動



給水拠点から離れた地区は
仮設タンクに給水



全国各地から集まった給水車

～最後に～

今回、応急給水活動に参加する中で、被災地の方々にとって水道が使えないことがどれほど不安で不便なことなのかを目の当たりにしました。

しかし、これは決して他人事ではなく、特に「平成28年熊本地震」を経験している私たちは、これからも災害への備えを意識しなければなりません。

別府市上下水道局では、今後とも日本水道協会の要請がありましたら、引き続き支援活動に参加していきます。